

日本私立大学協会
私立大学ガバナンス・コード＜第 2.0 版＞
「点検結果報告書」

共通様式

①法人名称	学校法人豊田学園
②設置大学名称	岐阜保健大学
③担当部署	法人事務局
④問合せ先	058-274-3002 または houjin@gifuhoken.ac.jp
⑤点検結果の確定日	令和 7 年 1 月 22 日
⑥点検結果の公表日	令和 7 年 4 月 1 日
⑦点検結果の掲載先 URL	https://www.gifuhoken.ac.jp/about/disclosure.html
⑧本協会による公表	☒ 承諾する ☐ 否認する

【備考欄】

--

様式 I

I－I. 「基本原則」及び「原則」の遵守（実施）状況の点検結果

基本原則・原則	遵守状況
基本原則 1 自主性・自律性の確保（特色ある運営）	○
原則 1－1 建学の精神等の基本理念に基づく教学運営体制の確立	○
原則 1－2 中期的な計画の策定方針の明確化及び進捗管理	○
基本原則 2 公共性・社会性の確保（社会貢献）	○
原則 2－1 教育研究活動の成果の社会への還元	○
原則 2－2 多様性への対応	○
基本原則 3 安定性・継続性の確保（学校法人運営の基本）	○
原則 3－1 理事会の構成・運営方針の明確化	○
原則 3－2 監査機能の強化及び監事機能の実質化	○
原則 3－3 評議員会の構成・運営方針の明確化	○
原則 3－4 危機管理体制の確立	○
基本原則 4 透明性・信頼性の確保（情報公開）	○
原則 4－1 教育研究・経営に係る情報公開	○

I－II. 遵守（実施）していない「基本原則」の説明

該当する基本原則	説明
特になし	

I－III. 遵守（実施）していない「原則」の説明

該当する原則	説明
特になし	

様式Ⅱ

Ⅱ－Ⅰ．「原則」の遵守（実施）状況の判断に係る「実施項目」の取組状況

原則１－１ 建学の精神等の基本理念に基づく教学運営体制の確立

実施項目１－１①	説明
建学の精神等の基本理念及び教育目的の明示	建学の精神、基本理念及び教育目的について、大学ホームページ、大学案内冊子、シラバス、学生便覧などにより、広く公表している。
実施項目１－１②	説明
「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」及び「入学者受入れの方針」の実質化	学生等に対して入学から卒業に至るまでの学びの道筋について、岐阜保健大学学則や学位規程をはじめ、大学ホームページ、大学案内冊子、シラバス、学生便覧などにより、広く公表している。 また、自己点検・評価結果に基づき、教育の質の向上、学修環境の整備及び充実に努めている。
実施項目１－１③	説明
教学組織の権限と役割の明確化	学校法人豊田学園組織規程や岐阜保健大学教授会規程等により、学長の責務（役割及び職務範囲）、学長の補佐体制（副学長や学部長の役割及び職務範囲）及び教授会の役割（学長と教授会の関係）などについて、教学組織の権限と役割を明確にしている。
実施項目１－１④	説明
教職協働体制の確保	学校法人豊田学園組織規程等により、教員と職員等が適切に分担・協力・連携を行うことを可能とする体制を確保し、教育研究活動等の組織的かつ効果的な管理・運営に努めている。
実施項目１－１⑤	説明
教職員の資質向上に係る取組みの基本方針・年次計画の策定及び推進	学校法人豊田学園中期計画を策定・推進するとともに、「FD／SD委員会」を設置しており、ファカルティ・ディベロップメント（FD）、スタッフ・ディベロップメント（SD）に係る取り組みにより、教職員の資質向上に取り組んでいる。

原則１－２ 中期的な計画の策定方針の明確化及び進捗管理

実施項目１－２①	説明
中期的な計画の策定方針の明確化及び具体性のある計画の策定	学校法人豊田学園中期計画を策定・推進により、「大学の教育研究等の向上に関する目標を達成するための措置」、「管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置」、「財務内容の改善に関する目標を達成するための措置」、「内部質保証、自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置」に取り組んでいる。

実施項目 1－2②	説明
計画実現のための進捗管理	学校法人豊田学園中期計画に基づき、岐阜保健大学内に内部質保証評価会議を設置するなど、進捗管理体制を確立している。また、進捗状況を把握し、その結果を内外に公表するとともに、必要に応じて計画の修正を行っている。

原則 2－1 教育研究活動の成果の社会への還元

実施項目 2－1①	説明
社会の要請に応える人材の育成	建学の精神に基づく人材育成とともに、地域の多様な社会人の受入れなど、社会の要請に応じた学びの機会を提供している。
実施項目 2－1②	説明
社会貢献・地域連携の推進	豊田学園・SDGs 宣言等の環境への配慮をはじめとする社会課題への対応や地域課題の解決に向けた取り組みを行うなど、「知の拠点」としての大学の役割を果たすよう努めている。

原則 2－2 多様性への対応

実施項目 2－2①	説明
多様性を受容する体制の充実	性別、年齢、障がい、国籍など、多様な背景を持つ学生、教職員等を受け入れる学内環境・体制の整備及び充実に努めている。令和6年4月に「岐阜保健大学における障がい学生支援に関する基本方針」を策定し、公表している。
実施項目 2－2②	説明
役員等への女性登用の配慮	男女共同参画社会の実現及び女性活躍促進の観点から、役員や評議員等への女性登用に配慮している。

原則 3－1 理事会の構成・運営方針の明確化

実施項目 3－1①	説明
理事の人材確保方針の明確化及び選任過程の透明性の確保	法令及び学校法人豊田学園寄附行為に基づき、理事の責務を踏まえた人材を確保するとともに、選任過程の透明性を確保している。

実施項目 3-1②	説明
理事会運営の透明性の確保及び評議員会との協働体制の確立	法令及び学校法人豊田学園寄附行為に基づき、理事会の役割及び理事の責務を明確にするとともに、評議員会との建設的な協働と相互牽制体制を確立し、運営の透明性を確保している。
実施項目 3-1③	説明
理事への情報提供・研修機会の充実	学校法人の適正な運営に当たり、必要とされる指揮権を習得できるよう、新任・外部を含む理事に対する情報提供や研修機会の確保・充実に努めている。

原則 3-2 監査機能の強化及び監事機能の実質化

実施項目 3-2①	説明
監事及び会計監査人の選任基準の明確化及び選任過程の透明性の確保	法令及び学校法人豊田学園寄附行為並びに学校法人豊田学園監事監査規程及び監事監査ガイドラインに基づき、監事及び会計監査人の独立性を確保する観点を重視し、選任基準を明確にするとともに、選任過程の透明性を確保している。
実施項目 3-2②	説明
監事、会計監査人及び内部監査室等の連携	豊田学園監事監査規程及び監事監査ガイドライン並びに監査計画を策定するとともに、監事、会計監査人及び内部監査班等の連携体制を確立し、監査計画や結果等について、情報共有・意見交換を行っている。
実施項目 3-2③	説明
監事への情報提供・研修機会の充実	監事が十分な監査ができるよう、監事業務を支援するための情報提供や研修機会の確保及び充実に努めている。

原則 3-3 評議員会の構成・運営方針の明確化

実施項目 3-3①	説明
評議員の選任方法や属性・構成割合についての考え方の明確化及び選任過程の透明性の確保	法令及び学校法人豊田学園寄附行為に基づき、評議員の責務を踏まえた人材を確保するとともに、選任過程の透明性を確保している。
実施項目 3-3②	説明
評議員会運営の透明性の確保及び理事会との協働体制の確立	法令及び学校法人豊田学園寄附行為に基づき、評議員会の役割及び評議員の責務を明確にするとともに、理事会との建設的な協働と相互牽制体制を確立し、運営の透明性を確保している。

実施項目 3－3③	説明
評議員への情報提供・研修機会の充実	学校法人の適正な運営に必要とされる識見を習得できるよう、新任・外部を含む評議員に対する情報提供や研修機会の確保及び充実に努めている。

原則 3－4 危機管理体制の確立

実施項目 3－4①	説明
危機管理マニュアルの整備及び事業継続計画の策定・活用	防犯・防災規程等を整備し、教職員及び学生等の安全確保などに取り組んでいる。学生便覧などにより、有事の対応について、学内において浸透させている。
実施項目 3－4②	説明
法令等遵守のための体制整備	学校法人豊田学園コンプライアンス規程等を整備し、法令、学校法人豊田学園寄附行為、その他諸規程を遵守するよう、組織的に取り組むとともに、違反又はそのおそれがある行為に関する内部通報窓口(法人事務局)を設けるなど、内部通報体制を整備する

原則 4－1 教育研究・経営に係る情報公開

実施項目 4－1①	説明
情報公開推進のための方針の策定	法令及び学校法人豊田学園寄附行為に基づくとともに、学校法人豊田学園財産目録等情報公開規程を整備するなどして、情報公開を推進している。
実施項目 4－1②	説明
ステークホルダーへの理解促進のための公開の工夫	分かりやすい用語を使用するなど、説明方法を常に工夫し、幅広いステークホルダーの理解促進に努めている。

Ⅱ－Ⅱ. 「実施項目」に記載の内容とは異なる独自の方法により、「原則」を遵守していると判断した場合の取組内容

該当する原則	説明
特になし	